

テレンスのごじょうめ日記 Terrence's Gojome Diary



VOL. 10

Hydrangea Fields, Field Day (体育祭と紫陽花)

Last month I've started my first English conversation classes for children. They are very "元気".

It was also Sports Day in Gochu. I was excited to see everyone being very energetic and do their best.

This was my first time seeing an event like this.

I tried a calligraphy class at the chomin center.

It's been a long time since I did it, and I want to practice more now.

This has been a busy month.

Let's all try to stay cool.

先月から、私が担当する子どもたち向けの英会話教室が始まりました。みんなとっても元気です。

中学校の体育祭では、生徒たちの熱気や一生懸命取り組む姿にとってもエキサイティングしました。このようなイベントに参加するのは初めてです。

また、国際理解講座の「書道教室」にも参加しました。



書道教室では「夢」という字を書きました。

前に書道に取り組んだときから時間が空いてしまっていたので、これからもっと練習をしたいです。

この1か月は、たくさんイベントがありました。何をやるにしても、涼しくしながら取り組み、熱中症に気を付けましょう。



◆本名:テレンス・ジェームズ・サンチェス、誕生日は3月7日◆出身地:アメリカ合衆国カリフォルニア州サンノゼ◆昨年の8月から町の英語指導助手(ALT)に着任。趣味はスケートボード、筋力トレーニング、バスケットボールの試合観戦など。最近の好きな映画作品は「天気の子」

2019年中期全秋田ダンス競技会	
◆ジュブナイルラテンアメリカン	松田 渉 (五城目小3年)
◆ジュブナイルスタンダード	一関 結心 (五城目小6年)
◆ジュニアスタンダード	一関 結心 (五城目小6年)
◆ジュニアラテンアメリカン	一関 結心 (五城目小6年)
◆ジュブナイルラテンアメリカン	柴田 楓 (五城目小5年)
◆ジュブナイルスタンダード	佐々木稟琉 (五城目小6年)
◆ジュブナイルスタンダード	松田 渉 (五城目小3年)
◆ジュブナイルスタンダード	佐々木琉杏 (五城目小3年)
◆ジュブナイルスタンダード	柴田 楓 (五城目小5年)
◆ジュニアスタンダード	佐々木稟琉 (五城目小6年)
◆ジュニアラテンアメリカン	柴田 楓 (五城目小5年)
◆ジュニアラテンアメリカン	佐々木稟琉 (五城目小6年)
◆ジュニアラテンアメリカン	松田 渉 (五城目小3年)
◆ジュニアラテンアメリカン	佐々木琉杏 (五城目小3年)
◆5年生の部	優勝 畠山 彪 (五城目小5年・雄武館山中道場)
◆団体高学年の部	畠山 彪 (五城目小5年・雄武館山中道場)
◆男鹿潟上南中学校U14代表選考会ソフトテニス大会	準優勝 加藤 陽菜 (五城目一中2年)
◆全日本吹奏楽コンクール秋田県中央地区大会	石井 音羽 (五城目一中2年)
◆中学校小編成の部	金賞 五城目一中吹奏楽部

姉妹都市千代田区だより

町は今年10月に東京都千代田区と姉妹提携30周年を迎えます。より多くの方に町と千代田区のつながりを知っていただけるよう、定期的にコラムを掲載していきます。今回は千代田区の伝統あるお祭りについてご紹介します。

山王祭

千代田区永田町「日枝神社」のお祭りで、徳川時代、江戸城内に入御した御神輿を、三代將軍家光公以来、歴代將軍が拝礼する「天下祭」として盛観を極めました。「江戸三大祭り」のひとつに数えられるお祭りで、神田祭と交互に1年おきに開催されます。

神社境内で江戸時代からの伝統芸能である邦楽やお茶、お花など様々なイベントが開催されます。

また、祭りの見どころのひとつである神幸祭では、およそ300mの祭礼行列が、10時間以上も街を練り歩きます。この神幸祭には「ふるさと五城目会」も参加しています。



祭礼行列に参加するふるさと五城目会の皆さん

神田祭

ビルが立ち並ぶ東京のど真ん中で、まるで江戸時代にタイムスリップしたかのような光景が広がるお祭りです。

千代田区外神田「神田明神」のお祭りで、山王祭とともに「江戸三大祭り」のひとつとされています。

徳川幕府を開いた徳川家康は、戦の前には必ず神田明神で勝利を祈ったそうです。その後、見事に天下統一した家康の支援により、神社で行われる祭りは現在のような盛大なものとなりました。

神幸祭・附け祭では神輿や曳き物などが賑やかな行列を作り、神田明神への神輿の宮入では神社境内が人々で溢れかえり、祭りの最大の見どころとなります。

祭り期間中に行われる太鼓フェスティバルでは、神田明神将門太鼓にルーツを持つ五城目天翔太鼓も参加し、祭りの活気に一役買っています。



200基を超える神輿が、朝から晩まで続々と神田明神に宮入します

ごじょうめの文芸

一短歌一
五月より小手毬の花数多咲き
巡れる蜂のやさしき羽音
大川 工藤 誠子
ひとときの笑いがそこにあるならば
価値ある一日と言おういやないか
館 越 斎藤 諒一
同じことを同じように繰り返す
飽きずに続けて生活繋ぐ
八郎瀧町 知洋 英子
海を背に白き肌なる西施像
雨にけふるを窓越しに見る
古川町 小濱 キエ
一俳句一
捨てし種より甦る大かぼちゃ
八郎瀧町 北嶋美保子
村跡や純白捧ぐ朴散華
上田町 工藤ミネ子
花は葉に私にもあつた花ざかり
湯ノ又 松橋テル子
一川 柳一
夢がある赤い車と赤い薔薇
新知町 荒川みなみ
蟻どうし苦労話で盛り上がる
新知町 荒川 一滴
泥被る覚悟で受けて立つ私案
新里町 加藤 円心
甘やかな心で編んでいる時間
矢場崎 鈴木さくら

いちにちおばけ／ふくべあきひろ(作)
ある晴れた夏の朝
／小手鞠い
ヒポクラテスの誓い
／中山七里
青空と逃げる／辻村深月
寝たままできる骨スト
レッチ／松村卓
心から喜んでもらえる贈りもののマナー
／雷田ごみみ

※新刊については、町ホームページにも掲載しています。
※町民センター2階図書室は、午後7時まで利用できます。
※問い合わせ先 中央公民館 (0852・4411)